

# 【耕畜連携】(埼玉県 美里飼料用イネ協議会・美里飼料用イネ利用会)

- 町内耕種農家で組織する美里飼料用イネ協議会(以下「協議会」と町内外の畜産農家で組織する美里飼料用イネ利用会(以下「利用会」)は、平成14年から連携して、地域に密着した資源循環型の農業経営を推進。
- 稲の栽培は協議会の構成員各自で行い、収穫調製を協議会で実施。需要に応じた稲WCSの良品生産に努めており、収穫前には協議会と利用会の両組織で、ほ場を見回り・ランク判定等を実施。また、稲WCSを利用している畜産農家で発生した堆肥を、耕種農家共同の堆肥盤に集積し、堆肥散布を実施。
- 堆肥施用による地力の向上により、稲WCSだけでなく、後作の小麦の増収・品質も向上。また、連携を深めることで稲わらなどの農場副産物の利用供給等も開始。構成員には若手農家もあり、担い手の育成にも尽力。

